

森林内における放射性物質実態把握調査事業（新規）

【平成24年度概算決定額（復旧・復興対策分）30,000千円】

【（うち復興庁計上分）30,000千円】

事業のポイント

森林内に分布している放射性物質の挙動について調査・解析を行います。

<背景／課題>

- ・福島第1原子力発電所周辺地域の大半は森林であり、その豊かな資源を活用した林業・木材産業が地域の基幹産業となっていますが、既に、警戒区域等の指定による事業活動の制限、生産物の出荷制限や風評被害等深刻な影響がみられています。放射性物質による影響は、長期間にわたることから、今後の森林・林業施策の対応に必要な知見を継続的に収集し、復興に向けた的確な対策を講じていく必要があります。

政策目標

継続的な調査を実施し、復興に向けた森林・林業施策を的確に推進

<内容>

森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとに分布している放射性物質の挙動についての調査・解析を行います。

<委託先>

民間団体等

<事業実施機関>

平成24年～28年度（5年間）

[担当課：林野庁研究・保全課]